

鉛筆『uni』『Hi-uni』のパッケージを刷新

創業 140 年に、ブランドの原点を承継し、未来を見据えたパッケージへ

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)は、鉛筆『uni(ユニ)』『Hi-uni(ハイユニ)』のパッケージをリニューアルし、2026 年 9 月 16 日(水)より主要硬度である HB、B、2B から順次発売します。

『uni』は 1958 年、『Hi-uni』は 1966 年に発売された、当社を代表する鉛筆ブランドです。発売以来、「最高品質」の追求を通じて、多くのお客様の学びや創作、仕事を支えてきました。

当社は 2026 年に創業 140 年を迎えました。この節目に当たり、当社の原点である鉛筆ブランドの価値を改めて見つめ直し、パッケージデザインおよび包装材を刷新します。品質へのこだわりを継承しながら、環境への配慮や価値観の変化を反映し、これからの「uni」ブランドが目指す姿を表現するパッケージへと生まれ変わります。

また、創業 140 年を機に、改めて鉛筆の価値と魅力をお客様にお届けしたいという想いを込めています。



■リニューアルの背景

1958 年に発売した『uni』は、当時の技術を結集して開発された高級鉛筆でした。

発売時、当社は最高品質の鉛筆にふさわしいパッケージを目指し、当時としては先進的な素材であったプラスチックケースを採用しました。品質へのこだわりを鉛筆本体だけでなくパッケージにも反映し、高級感や先進性を表現したこのデザインは、1966 年発売の『Hi-uni』にも受け継がれ、長年にわたりブランドを象徴する存在となってきました。

一方で、鉛筆を取り巻く環境は大きく変化しています。かつて鉛筆は、学習や仕事に欠かせない筆記具として広く使われていましたが、現在はシャープペンシルやボールペン、デジタルデバイスなど、筆記や記録の手段が多様化しています。その中で鉛筆は、木のぬくもりや描線の豊かな表現、削りながら使う楽しさなど、鉛筆な

らではの価値に魅力を感じる方に選ばれる存在へと変化しています。
こうした変化を踏まえ、今回のリニューアルでは、発売当時の「その時代における最良のパッケージ」という思想を受け継ぎながら、現代にふさわしいパッケージを目指しました。

■商品特長

1. 紙素材を主体とした新パッケージ

従来のプラスチックケースから、紙素材の外箱とパルプモールドのトレーを組み合わせたパッケージへ変更しました。

外箱には薄くて強度のあるマイクロフルートを、トレーには EFB (Empty Fruits Bunch) をアップサイクルしたパルプモールドを採用しました。EFB はアブラヤシの果実から得られるパーム油を搾った際に生じる副産物で、国際的なパーム油の需要増加に伴い有効活用が求められています。また、立体成形されたパルプモールドは緩衝性に優れ、近年さまざまな製品の包装材として活用されています。

木を主材料とする鉛筆と相性の良い素材を採用することで、環境への配慮と、鉛筆ならではの価値を感じられるパッケージを目指しました。



アブラヤシの需要拡大



廃棄されるヤシカサ



ヤシカサパルプ

2. 鉛筆を使いやすくする新しい収納形態

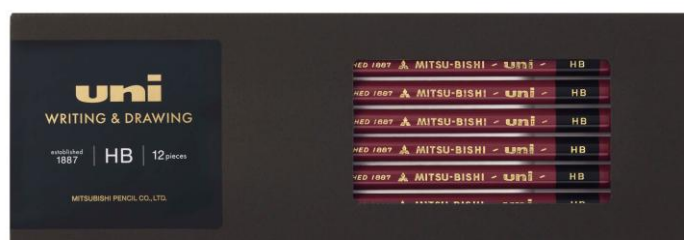
新たに採用したパルプモールドのトレーは、鉛筆を保護するだけでなく、そのまま机の上に置いて使用できます。鉛筆を取り出しやすく、保管しやすい形状としています。



3. 『uni』ブランドを未来へつなぐ新デザイン

新パッケージでは、『uni』『Hi-uni』が長年培ってきた品質を大切にしながら、シンプルで洗練されたデザインへと刷新しました。

『uni』『Hi-uni』は、当時の当社の技術と品質へのこだわりを結集して開発された鉛筆です。1958 年の発売以来、当社の原点である鉛筆を象徴するブランドとして歩んできました。今回のリニューアルでは、その価値を受け継ぎながら、人々の創造性や表現を支え続けるブランドでありたいという想いをデザインに込めています。



【商品概要】

商品名	uni
品 名	ユニ
硬度	HB、B、2B
参考価格	1 ダース 1,320 円(税抜 1,200 円)

商品名	Hi-uni
品 名	ハイユニ
硬度	HB、B、2B
参考価格	1 ダース 1,980 円(税抜 1,800 円)

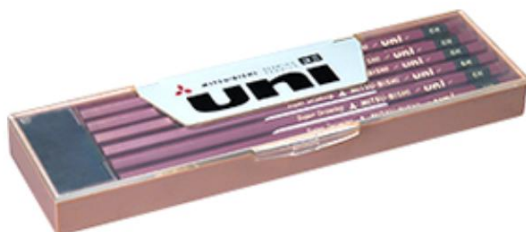
※本リニューアルは、HB、B、2B から順次発売します。その他の硬度についても順次切り替えを行い、2027 年をめどに全硬度での展開を予定しています。

【ご参考】

■「uni」ブランドとパッケージの変遷

1958 年に発売した『uni』は、当時の当社の技術を結集して開発された高級鉛筆です。名称の「uni」は、「ただ一つの」を意味する unique に由来し、「世界に通用する最高品質の鉛筆をつくりたい」という想いを込めて誕生しました。1966 年に発売した上位モデルの『Hi-uni』にもその思想は受け継がれ、商品品質だけでなく、パッケージを含めたブランド体験を提供してきました。その後も「uni」ブランドは時代とともに進化を続け、品質の追求を軸に、多くのお客様の学びや創作を支えてきました。

1958 年 『uni』発売



当時の最先端素材、プラスチックを使用して作られました。手作業でアルミ製のヒンジを取り付けており、ダース箱内に芯削リが内蔵されています。

1965 年 『uni』2 代目ダース箱



予想以上の大ヒットを受け、ダース箱の生産が間に合わず、初代のアルミ蝶番(ちょうつがい)から着脱式の蓋(ふた)に変更され、消しゴム付となりました。

1966 年 『Hi-uni』発売



『uni』を超える『uni』を目指して開発された、世界最高峰の一本です。

1971 年 『uni』3 代目ダース箱



蓋を再び蝶番式(プラスチック製)に戻した 3 代目は、そのシャープな印象のフォルムから、当時の子どもたちの憧れとなりました。

1989 年 『uni』4 代目ダース箱



リニューアル前のダース箱。両サイドのエッジを落としたアール形状で、一回りコンパクトな印象に仕上がっています。1989 年の登場以来、多くのお客様に親しまれてきました。

〈報道関係 お問い合わせ先〉

三菱鉛筆株式会社 経営企画部 広報グループ ふかざわ 深沢、てらそま 寺杣

TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217